

きよの福音 (マタイ 20・1-16)

# お互いにおかち合おう

ハムスター

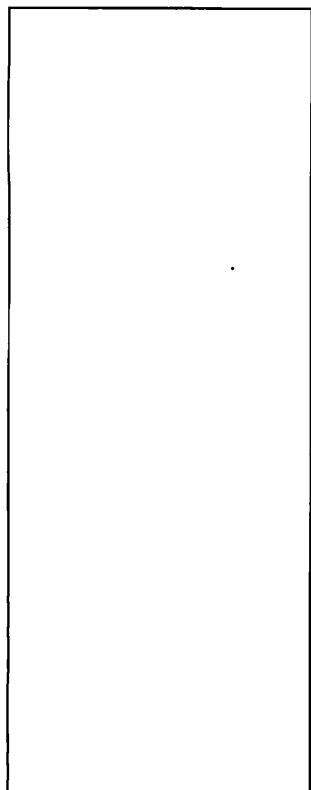
滝野 正三郎

## 分かち合い

日本は、豊かになり、ものがたくさんあります。お金を出せば、なんでも手に入れることができそうに思えます。

でも、お金を出せばなんでも買えると思っではいけません。お金で買えないものがたくさんあります。

お金では買えないものにどんなものがあるか、次に書いてみましょう。



お金で買えないものが、たくさんあるそうですね。わたしたちが、日本にいと、気がつかなかったり、わすれてしまったりしていることで、とても大切なことがあるようですね。

わたしは、フィリピンに二度行ったことがあります。そのときに感じたことを話してみたいと思います。フィリピンという国は、もともと自然に恵まれて、豊かな国でした。ひとびとは、あくせく働かなくても、自然にできるくだものや、海からとれる魚でじゅうぶんに食べていくことができました。

でも、よその国から入ってきたひとたちが、フィリピンでとれるものを、じぶんたちの国に持って帰ったり、よその国に売ってしまうために、フィリピンのひとびとに残されたものは、わずかなものとなり、食べるのにも困るようになりました。

仕事をしたくても、仕事がないひとたちもたくさんいます。でも、ひとびとの顔を見ていると、いつも明るく、元気です。仕事があれば、食べることを心配して、元気もなくなってくるのに、どうしてだろうと思いました。

ひとびとが元気なのは、お互いに、いつも分かち合  
って生きているからです。結婚した家族も、いっしょ  
に大勢で住んでいて、そのうちの何人かが仕事をし  
ていれば、それでみんなが生活できるようなしてい  
ます。今、日本に仕事をしに来ているひとたちも、国に  
いる家族を養うために、働いているのです。一人が働  
くことによつて、たくさんの方が養えるのです。  
持っているひとが、持っていない人に分かち合うこと  
があたりまえになっているのです。

### ぶどう園の労働者のたとえ

このたとえで、イエスは何を言いたかったの  
でしょうか。

労働者が、働いた分の賃金をもらうのは、当然の  
権利です。ですから、この権利をあきらめるように  
イエスが言っているわけではありません。

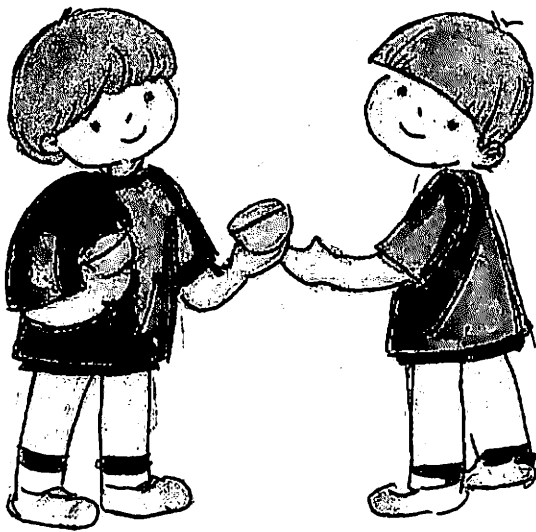
もっと別のことを、このたとえによつて言  
いたかったはずですよ。

日本が豊かになり、東南アジアの国のひと  
びとが貧

しいのは、ひとびとが、まじめに働くか、なまけて  
いるかのちがいだと言うひとがいます。

でも、ひとびとがなまけたためにそうなったの  
ではありません。よそから来たひとが、ひとびとの  
大切なものを、とりあげてしまったから、まずしく  
なつたのです。

日本の豊かさは、このような国のひとびとをふみ  
つけることによつてできたことです。ですから、ひと  
びとからとりあげたものは、かえさなければいけ  
ないのです。そのことで不平を言うことはでき  
ないのです。



(京都教区司祭)